

稲本会長（中央）とロスプリベンション会議登壇者の皆さん

JEAS

ロスプリベンション国際会議を主催

「国境越えた取り組み」呼び掛け

日本万引防止システム協会（ＪＥＡＳ・稲本義範会長）は10月7日から10日まで、東京国際フォーラム（東京都千代田区）で開催された小売業の国際会議「第22回アジア太平洋小売業者大会・東京大会」（主催＝アジア太平洋小売業協会連合会・日本小売業協会）に参加した。

ＪＥＡＳは会期中、ホール内で行われた「ロスプリベンション会議」を主催。ロスプリベンションは小売業で商品ロス（万引き・内部不正・破損など）を未然に防ぐ取り組みのことで、協会理事ら4人が登壇し事例発表を行った。



ＪＥＡＳの展示ブース（ＪＥＡＳ提供）

同会議内で「小売業の未来に、ロスは残さない」を共通理念に掲げる東京共同宣言を発出。「犯罪を起こさせにくい店舗環境づくり」「ＡＩ・画像認識など新技術の責任ある活用」など全5項目を挙げ、国境を越え連携して取り組むことを呼び掛けた。

会場内では小売業大手33社が参加する展示会も開催された。ＪＥＡＳはブース出展し、防犯カメラや顔認証システム、ＡＩ映像解析などの最新技術や協会活動を紹介。小売業界が直面する万引き、組織犯罪、内部不正などの課題に対する対策事例も発信した。